

「自主、自立、自信」子供の「できた!」を見守る伴走者



いずかし

令和8年度コミュニティ・スクールスタート

R8.7月6日 14号

文責：園田



各団体の方から熱心な情報共有が行われました

いく仕組み」です。これまでは学校だけで決めていた教育目標や学校の運営方針について、保護者の代表や地域の方々が「学校運営協議会」という会議を通して意見を出し合い、承認やサポートを行います。「地域全体が学校の応援団」になり、登下校の見守りや、地域の特性を生かした体験授業、学習サポートなど、子どもたちの豊かな学びと安全をみんなで支えていきます。本年度の委員の皆様をご紹介します。

(会長)

・森山雅彰様 学識経験者

(副会長)

・鑄山元生様 住民自治協議会

(委員) 順不同

・松浦幹夫様 栽柳園期成保存会

・草野雅純様 安全協会

・和久田静夫様 盆踊保存会

・開 優子様 支援活動代表

・松下美香様 地域コーディネーター

・田北由加里様 民生児童委員

・山本麻路様 PTA顧問

・田北由梨香 PTA会長

・土井昌子様 PTA副会長

・濱本幸宏様 PTA副会長

・園田泰男 校長

本校は、「熊本県版コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」から移行した「国版コミュニティ・スクール」を開設計して、地域の各種団体の方々と構成した『植柳小学校運営協議会』を設置しています。「名前は聞いたことがあるけれど、どんな仕組み？」と思われる保護者の方も多いのではないのでしょうか。コミュニティ・スクールとは、一言でいうと「学校と保護者、地域住民が力を合わせて、一緒により良い学校をつくって

杉本孝子 教頭

以上14名

授業参観・親子講座

7月2日(木)の授業参観後に、子どもたちの課題点を保護者と共有し解決するために、八代教育事務所からお二人の講師をお招きして「親子で身に付けよう!生活リズム」のテーマで講座を開催しました。基本的な生活習慣とは早寝・早起き・朝ごはん、衣服の着脱、片付けなどで日常生活を営む上で最も基本的な習慣ですが、これをしっかりと身に付けることで、健康を維持するだけでなく、学力の向上、自立心の育成、社会性の発達といった極めて高い教育的効果をもたらします。

「早く寝なさい!ゲーム(スマホ)ばかりしないのっ!」にサヨウナラ

冒頭のあいさつで、私から今年度のスクリーンタイム調査の速報値を紹介し、メディアを使用する時間が大きく減少したという嬉しい内容を紹介しました。このことから、保護者の皆様の意識に変化が見られてきた事が分かります。基本的な生活習慣の獲得は、保護者の皆様との連携が最も大切になります。今回の講演を機に、今一度、子どもたちの自立に向けたご家庭での指導をよりしくお願いいたします。

田植え体験(5年)



先月23日(火)に農業指導の塚田さんやJAの方々の指導のもと

先生もスキルアップ

6月19日(金)に講師をお招きして校内研修を行いました。まず、5、6年生の子どもたちを体育館に集め、合同で「授業(学習)」とは何かを学びました。子どもたちは、最初から最後まで背筋をピンと伸ばし、目を輝かせながら講師の先生の発問や指示に対して反応していました。あっという間の45分間だったようで、子どもたちは口を揃えて「あっという間に時間が過ぎて楽しかった」と言っていました。講話では、「読み解く力」がなぜ必要なのか、「読む力」がなぜ必要なのか、「書く力」がなぜ必要なのか、などについて詳しく話をしました。職員も自分の



熱心に学びに向かう子どもたち

と、5年生児童による「代かき」を行いました。子供たちは田の中に足を入れる感触に悲鳴を上げながらもみんなで協力して最後まで真剣に取り組んでくれました。雨降る中でしたが、本当にありがたかったです。そして、今月3日(金)には田植え体験させていただきました。植え方の説明を聞いた後、足袋を履いて田んぼに入り、田植えの綱の印をたよりに、「慣らす、植える、もどす」とみんなでかけ声をかけながら楽しそうに植えていました。これから水の管理を勉強しながら、苗の生長を観察し、収穫の秋を待ちたいと思います。